

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市軸形成促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	313質の高い既成市街地の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	昨年度実施した用地測量等を踏まえ、国の交付金を活用した事業を推進する。推進にあたっては、地権者の協力と、関係機関との調整が必要である。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	国の交付金を活用し、事業を推進する。なお、推進にあたっては、地権者の協力と、関係機関との調整が必要である。
②①に基づく取組み結果	地権者の協力を得て、国の交付金を活用し、事業用地を取得した。また、関係機関との調整を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	初富駅周辺地区整備事業	意図(対象をどうするのか)	初富駅へのアクセスルートと駅前広場の整備を行う。
②事務事業の概要	都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、新京成線連続立体交差事業と併せて駅前広場等の整備の必要性から、地域住民や関係機関と協議を行いながら事業を推進していく。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新京成線連続立体交差事業が平成29年度に1線供用開始され、令和元年度に完成が見込まれる状況、また駅前広場の整備については、高齢者人口の増加に伴い駅への送迎需要が高まり、安心して乗降できるよう整備を促進する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	国の交付金を活用し、事業用地を取得した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	用地取得面積(初富)	0	0	107	m <sup>2</sup>	業務取得
	ii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	-	-	56.3	%	市民意識調査
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	3,541	49,518	金額(千円)	内容	39,260		
国支出金(千円)	0	21,980	14,382	初富駅前広場整備事業用地購入費	2,365		
県支出金(千円)	0	0	28,985	物件補償	0		
市債その他(千円)	0	23,100			30,500		
一般財源(千円)	3,541	4,438			6,395		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	初富駅周辺地区は、主要地方道及び主要市道に囲まれ交通量が多く、また商業施設を含む多くの建物が密集している地区である。このことから事業の推進に伴っては、新たな用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また市の都市基盤としての整備、通学路の安全性を高める側面から推進する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	初富駅周辺地区整備事業における用地取得	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	事業用地を取得	49,260	49,524	当初	49,260	49,518	H29からの繰越	0
				H29→30繰越	0		現年分	49,518
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	264			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)				0		